

ベラルーシ公開情報とりまとめ

(4月8日～4月14日)

2024年5月10日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- 第8回共和国院(上院)選挙結果の承認(4月9日)
- ベラルーシ・ロシア首脳会談(4月11日)
- 独立国家共同体(CIS)外務大臣会議の開催(4月12日)
- アレインク外務大臣のアルジェリア訪問(4月14日)

【ルカシェンコ大統領動静】

(4月11日 大統領府)

●ベラルーシ・ロシア首脳会談

(1) 首脳会談前のぶら下がり取材時のルカシェンコ大統領の発言

- ・企業及び人々にとって対等な条件であるという以上は対等でなければならない。我々は今や、ロシアにとって大いに必要とされている。我々がロシアを大いに必要としているように。だからこそ、我々が今、両国民と両国企業を対等とすることが極めて重要。
- ・ロシアがウクライナとの対話を望むなら支援することができる。とはいえ、ロシアにそのつもりがあるとは思えない。

(2) 首脳会談時のルカシェンコ大統領の発言

- ・ウクライナにおける紛争に関し、ロシア抜きでの和平交渉などあり得ない。
- ・この紛争におけるロシアの現指導部の立場を、またプーチン露大統領の立場を全面的に支持する。
- ・今日、席について合意するための全てがそろっている。2022年に成立寸前まで行った交渉に立ち返るべき。
- ・ルカシェンコとプーチンが明日にも欧州を奪い取ろうとしていると喚く向きがあるが、我々は何者かを奪い取るなどという計画など協議したことは決してない。
- ・近隣諸国によるベラルーシとの国境閉鎖は、中国やカザフスタンにも影響。
- ・我々は国境を閉鎖したりしてこなかった。我々は近隣諸国の国民に対して査証を免除しており、何者も国境で捕らえたり、スカウトしたりなどしていない。
- ・我々は制裁による経済的な圧力をロシア同様に克服。我々には市場もリソースもあり、耐え抜く。

【外交】

●モスクワでのテロに対する共和国院(上院)の声明

- ・3月22日にモスクワで発生したクロツカス・シティ・ホールへのテロ攻撃は、国際社会全体に衝撃を与えた。
 - ・人命の永続的な価値を改めて思い知らされた。罪のない人々が、犯罪者集団によって冷酷に撃たれ、火をつけられた。こうしたことはすべて、ドイツのファシスト占領軍とその共犯者たちが、女性や子どもに関わらず、無慈悲に民間人を虐殺した大祖国戦争の年代記を思い起こさせる。
 - ・テロリズムはエネルギーを糧とし、民族の精神的・道徳的価値、伝統、文化が破壊され、歴史が忘れ去られたところに根付く。だからこそ、テロリズムとの闘いの文脈で、我々は、歴史的記憶を保存し、民族の文化と伝統を尊重する態度を社会のなかに形成し、国家間の友好関係を発展させるための予防措置の重要性を強調するのである。
 - ・各国の国会議員や国際機関に対し、共同でテロリズムと過激主義に十分な障壁を設けることを要求する。
- (4月10日 共和国院)

●独立国家共同体(CIS)外務大臣会議の開催

- ・喫緊の国際問題や、CIS内の協力の深化につき意見交換。
 - ・以下の文書に署名。
- ①外交、文化・人道の分野におけるCISの協力の深化を目的とした一連の文書
 - ②ジャーナリストの職業活動の安全な条件の確保と

権利侵害の防止に関する共同声明

③国連総会における CIS のオブザーバー資格付与 30 周年に関する共同声明

・同会議の枠組みで、アレニク外務大臣は、サイードフ・ウズベキスタン外務大臣、レベジェフ CIS 執行書記、ヌルトレウ・カザフスタン副首相兼外務大臣、ムフリッディン・タジキスタン外務大臣とそれぞれ会談。

・なお、アルメニア外務省は、今回の会議に、ミルゾヤン・アルメニア外務大臣は参加しない旨事前に通知していた。

(4 月 8 日 「ゼルカロ(鏡)」、12 日 外務省)

●アレニク外務大臣のアルジェリア訪問

・テブン大統領と会談。二国間協力や産業・技術協力プロジェクト、教育、科学、技術、医療、観光の分野での協力等につき協議。

・アフメド・アッターフ外務・ディアスポラ大臣と会談。特に貿易・経済協力の活性化の強化と、農工業分野、科学技術、人道的側面を含む多くの相互利益分野における協力プロジェクトの実施につき協議。また、北アフリカ地域における食糧安全保障の分野で積極的な協力を行うことを再確認。西側諸国がこの分野に科している不法な制裁の破滅的な影響に言及。さらに、両国の首都間の直行便の就航に取り組む必要性を指摘。

(4 月 14 日 外務省)

●中東情勢に関する外務省声明

・ベラルーシは中東地域における情勢激化を深く懸念。
・我々は一貫して、政治的・外交的手段による中東紛争の平和的解決を提唱してきた。

・国際社会全体及び国際機関に対し、事態を速やかに安定させ、さらに尽力をするよう要請する。

(4 月 14 日 外務省)

【内政】

●第 8 回共和国院(上院)選挙結果の承認

・4 月 9 日に中央選挙管理委員会が承認した当選者内訳は以下のとおり。

国家表彰受章者 31 人

学位取得者、学者 8 人

地方議会議長及び執行

機関の長

医療機関の長 6 人

産業・運輸組織の代表 13 人

文化、金融、マスメディ

ア分野の代表

農産複合体の代表 4 人

公共団体の代表 2 人

非常事態省職員 1 人

軍人 2 人

・12 日、第 8 回共和国院第 1 回期第 1 回会議が開かれ、コチャノヴァ議長が満場一致で議長に再選。

(4 月 9 日 中央選挙管理委員会、12 日 共和国院)

●4 月 12 日現在の政治犯の数は 1,387 人

(4 月 12 日 人権団体「ヴァスナ(春)」)

●4 月 14 日現在の政治犯の数は 1,387 人

(4 月 14 日 人権団体「ヴァスナ(春)」)

【軍事・安全保障】

●キューバ軍代表団のミンスク訪問

・グレヴィチ第一国防次官は、マリオ・エルネスト・ロドリゲス・ペニャランダ・キューバ軍准将と会談。

・双方は、ベラルーシ・キューバ間の建設的な交流につき言及し、二国間軍事協力の分野で以前に行われた共同活動の中間報告を行った。また、相互の関心事項について活発な対話を維持する意向を表明した。

(4 月 8 日 国防省)

●4 月 6 日から 12 日にかけてベラルーシに入国したウクライナ人は 2,550 人

・なお、国家国境委員会は、ベラルーシを出国したウクライナ人の数を公表していない。

(4 月 12 日 国家国境委員会、Pozirk)

●ベラルーシから欧州への不法越境の試み

(1)4 月 8 日～4 月 14 日の不法越境の試み

・リトアニア国境警備局は少なくとも 8 人を阻止。

- ・ラトビア国境警備隊は少なくとも 132 人を阻止。
- ・ポーランド国境警備隊は少なくとも 1282 人を阻止。
- (2)ポーランドへの外国人の集団の不法越境の試み
- ・4 月 10 日朝、220 人以上の外国人移民の集団がポーランドに不法入国しようとした。移民らは非常に攻撃的で、ポーランド国境警備隊に枝や石を投げつけるなどした。
- ・ポーランド国境警備隊がこれを阻止すると、移民らはベラルーシ側に退却した。
- (4 月 9 日～4 月 15 日 Pozirk、10 日「ゼルカロ(鏡)」)

【治安・犯罪】

●モスクワでのテロについて SNS で否定的なコメントをした男性の拘束

(4 月 8 日「ゼルカロ(鏡)」)

●大統領侮辱罪で拘留されていた男性が死亡

- ・予備役中佐のクリニチ氏は、2 月 29 日にルカシェンコ大統領を侮辱したとして拘束され、ブレスト市拘置所で拘留されていた。
- ・同氏に対する裁判は 4 月 16 日に行われる予定だったが、同氏は 9 日に死亡した。
- ・これを受けて、チハノフスカヤ民主勢力代表は、「獄中で死亡するベラルーシ人がこれで 6 人目とは信じたくない。クリニチ氏が適切な医療を受けられなかったことは明らかである」として、国際社会に対し、政治犯の釈放に向けたプロセスを開始するために積極的に活動し可能な限りのことを行うよう呼びかけ。

(4 月 10 日「ゼルカロ(鏡)」、チハノフスカヤ氏 Telegram)

●ドイツで、輸送中のライフル銃 40 丁を盗んだとしてベラルーシ人 2 名を逮捕

(4 月 12 日 Bild、Pozirk)

【経済】

●ロシア市場へのトラクター等の輸出の減少

- ・ロゴジニク産業大臣は、「全国テレビ(ONT)」のインタビューで、2023 年のロシア市場へのトラクター、冷蔵庫、冷凍庫の輸出が鈍化した旨発言。同大臣は、そ

の理由として、中国企業の参入の拡大を指摘。

(4 月 14 日 国営「全国テレビ(ONT)、国営ベルタ通信」)

【抗議勢力の動き】

●チハノフスカヤ民主勢力代表の動向

- ・4 月 9 日、第 3 回ベラルーシ・ビジネスフォーラムを開催(於:ビリニユス)。
- ・9 日から 10 日にかけて、キプロスを訪問。フリストドゥリデイス大統領と会談。キプロスにおけるベラルーシ人の滞在手続きの簡素化や同国に移転した企業への支援等につき協議。
- ・12 日、シコルスキ・ポーランド外務大臣と会談。政治犯の釈放に向けた歩みや、ポーランドでのベラルーシ人への査証発給等の問題につき協議。
- (4 月 9 日～12 日 チハノフスカヤ氏公式サイト)

●人権活動家ビャリャツキ氏の健康状態の悪化

- ・妻のナタリア・ピンチュク氏によれば、ビャリャツキ氏は持病があるにもかかわらず半年間独房に収監されており、病状が悪化。また、必要な医薬品も受け取れていない状況が判明した。
- ・ビャリャツキ氏は 2022 年 10 月にノーベル平和賞を受賞。2023 年 3 月に 10 年の自由剥奪刑の判決を受け、服役中。
- (4 月 9 日 AP 通信、10 日「ゼルカロ(鏡)」)

【その他】

●ベラルーシ人 62,830 人がリトアニアで有効な滞在許可を取得(うち 74%が就労目的)

(4 月 9 日 Pozirk)

●2023 年にポーランドで個人事業主となったベラルーシ人は 7,663 人

- ・2023 年に同国で個人事業主となった人のうち 19%がベラルーシ人。
- (4 月 11 日 ポーランド経済研究所、Pozirk)

【統計等】

●2023 年の交通事故での死傷者数

・2023 年には 3,173 件の交通事故が発生（前年比▲0.4%）。

・交通事故による死亡者は 436 人（前年比▲6.4%）、負傷者は 3,384 人（1%増）。

（4 月 17 日 国家統計委員会）

●2023 年に登録された結婚件数は 5 万 6,044 件、離婚件数は 3 万 3,962 件

（4 月 8 日 国家統計委員会）

（了）